

2021

障害者雇用をご検討
頂いている企業の方
へのご案内

障害者雇用を サポートします!

障害者を雇用
したいがどのように
したらよい?

障害者雇用率を
達成したいが良い
方法はないか?

どんな仕事ができる
のかイメージがわか
ない...

社員の理解を得たい
が社員向け研修等の
相談もできる?

厚生労働省が5年ごとに
発表する「障害者雇用実態
調査」によると「仕事の設
定」や「雇用イメージ」な
ど、各企業で共通の課題が
みられます(下図参照)。

◆平成30年度の調査結果◆



(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 山梨障害者職業センター

このようなお悩みが
ある場合は...

**山梨障害者職業
センターに
ご相談下さい!**

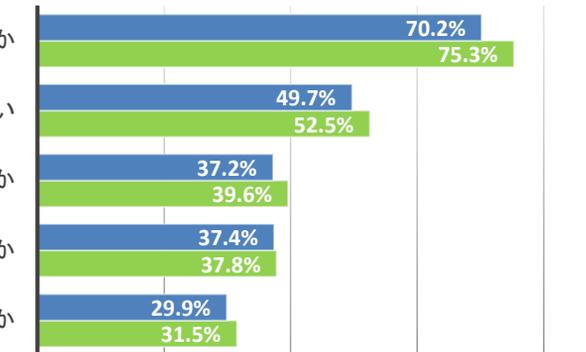
一緒に課題解決
を目指し課題・
ニーズに応じた
支援を行います。

(相談は無料です。
お気軽にご相談下さい。)



<雇用するにあたっての課題>

- 会社内に適当な仕事があるか
- 障害者雇用のイメージやノウハウがない
- 採用時に適正・能力を十分把握できるか
- 従業員が障害特性を理解できるか
- 安全面の配慮が適切にできるか



0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%

■精神障害者 ■発達障害者

(身体障害者、知的障害者についても同様の傾向が見られる)

障害者雇用に向けたSTEPと職業センターの支援

以下の『障害者雇用に向けた検討のSTEP』で検討中のところ、情報を得たいところ、相談したいところをチェックしてください。

Step 1

障害者雇用に向けて 「イメージをもつ」

- 戦力として活用している障害者の雇用事例を知る
 - <支援例> ・雇用事例DVDの貸出や事例について情報提供
 - ・各種研修会の情報提供等
- 求職活動中の障害者の状況を知る ※自社に向けた人材イメージを探す
 - <支援例> ・山梨障害者職業センター（職業準備支援）の見学
 - ・特別支援学校、就労移行支援事業所などの見学

Step 2

職務の選定 「できること」を探す

- 対応可能な職務を検討する
 - <支援例> ・事業所見学。現場を見ながら一緒にブレインストーミング
 - ・障害者の方にやってもらえそうな職務をリストアップする等（職務の選定・職務の創出・職務再設計に関するご相談等）

Step 3

受け入れ態勢を整える

- 受け入れ部署・現場の社員への職員研修の実施
 - <支援例> ・障害特性の説明、現場が不安に思われることの意見交換等

Step 4

募集から採用まで ～具体的な雇い入れ検討ステップ

- 求人を出す（雇用条件の検討or実習受け入れ時の職務内容や時間帯等検討）
- 募集方法を検討する
 - <支援例> ・まずは実習から始めたい！時の進め方相談
 - ・募集活動の仕方、関係機関の活用の仕方助言等

採用

Step 5

常用雇用での雇入れへ…職場定着・雇用継続をめざして （具体的な対象者が決まってから…）

- その方の特性をふまえた配慮の検討
- ジョブコーチ支援の活用

